



## TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

9月16日 Vol.4

### 会期前競技・活躍が光るTEAM FUKUOKA!



## 県水泳連盟の組織力！ 大きな躍進の予感？

15日、53種目を3日間で競う競泳が始まった。第1日目は、18種目の予選と決勝が行われ、5種別に入賞。競泳競技の初日、県のトップアスリート育成強化事業において、強化指定選手に認定している3名の選手が、福岡県に追い風となる活躍で会場を沸かせた。

その立役者となった少年男子A200m背泳ぎに出場した酒井陽向選手(東福岡高校)が見事優勝。続く、少年女子A200m平泳ぎでは、石原愛依選手(柳川高校)が優勝を逃したものの2位となった。さらに、少年男子A200m平泳ぎに出場した平河楓選手(筑陽学園高校)も5位入賞と結果を残し、福岡県に勢いをつける活躍を見せた。

古賀監督は、「酒井陽向選手は、これまでの国体ではケガや病気などに見舞われていた。そこで、大舞台で結果を残せるよう、2014アジア大会メドレーリレー金メダリストの酒井志穂氏(福岡県古賀市出身)を定期的に招聘し、指導いただいたことが、今大会の優勝につながったのではないかと、分析した。

また、県水連として、少年男子B4×100mフリーリレーの3位入賞については、本年度からリレー専属コーチをつけたことが、今大会の飛躍につながったとの見解を示した。

競泳チームの活躍は、県水泳連盟が結果にこだわり、組織的に競技力向上に向けた取り組みを行ってきた結果である。この結果は、これから競技に向かう本県選手団を勢いづけ、選手の「魂」を熱くさせる活躍につながるであろう。



【優勝した酒井選手】



## 競技別天皇杯を狙える好位置につけたクレ射撃チーム！

4ラウンド制で行われるクレ射撃競技。15日に第2ラウンドが終了し、現時点での順位は、スキート競技が6位タイ(122ポイント)、トラップ競技はトップタイ(127ポイント)と、好位置での折り返しとなった。

スキート競技では、杉田英雄選手が、安定した射撃を見せ、2ラウンド合計44ポイントと、本県チームを引っ張っている。また、トラップ競技では、尾上選手と大庭選手が、ともに2ラウンドで43点と高得点をはじき出している。

本県クレ射撃選手団は、平成16年埼玉国体以来14年ぶりの入賞が狙える好位置にいる。さらに、競技別天皇杯争いにおいては、現在、強豪岡山県(計154ポイント)に5ポイント差と迫る2位(149ポイント)につけ、虎視眈々と狙いを定めている。



【緊張感が伝わる杉田選手の射撃】

## 9月16日終了時点での福岡県順位！



男女総合成績(天皇杯) 9月16日終了時点		
1位	東京都	577.0
2位	長野県	518.5
3位	北海道	490.0
4位	神奈川県	403.5
5位	埼玉県	383.0
6位	愛知県	338.0
7位	大阪府	331.5
8位	新潟県	270.0
11位	福岡県	221.5

16日の競技を終了した現時点では、福岡県は、冬季大会を終えた時点での14位から3つ順位を上げ、11位としている。

明日以降、結果に期待できる種別もあるため、更に順位が上がるのが予測される。

目標は8位入賞。「チームふくおか」の本気はここから！

がんばれ、福岡！  
更なる活躍を期待します。

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係